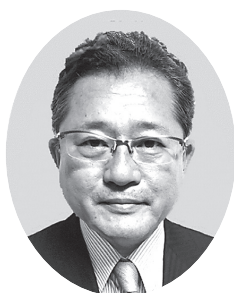


埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi



ごあいさつ

～ 埼臨技だよりが変わります～

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会長 神山 清志

会員、賛助会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より当会の運営・活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当会の機関紙である「埼臨技だより」は当月号(第529号)にて紙面配布を廃止いたし530号よりWeb閲覧形式とさせていただきます。

昭和54年に手書きにて初版された「だより」は歴代の担当理事をはじめとする編集担当者のご尽力で一度も欠号することなく現在を迎えております。この間、手書き→手書き写植→ワープロ→パソコンと原稿作成も大きく様変わりしてきました。また、当時は当会の活動をお知らせする術は紙面配布物しかありませんでしたが、最近では、各種情報網の発展に伴い、誰でも何時でもWebにて必要な情報を簡便に入手できるようになりました。これらの点を鑑み、さらに環境問題対策の面からも、だよりの紙面配布の廃止並びにWeb化を決定させていただきました。

皆様におかれましては本件に関してご理解をいただきたくお願い申し上げます。なお、次号からのWebだよりは、現行のレイアウトや内容は継承しますが、今後、皆様から寄せられる意見をもとに、見やすい・解りやすい・ためになる！を基本にさらなる充実化を図っていく所存です。

皆様におかれましては本件に関してご理解をいただきたくお願い申し上げます。



生涯教育研修プログラムWeb化のご案内

2023年7月号から埼臨技だよりがWeb化されるのに伴い、2か月に1回発行されていた生涯教育研修プログラムも紙媒体での発行が廃止されWebに1本化されます。

今後は、発行日に一斉メールにてご案内いたしますので埼臨技ホームページにアクセスして情報を取得してください。

TOPページ → 研修・研究班 → 研修会予定 で閲覧可能です。

昨今の環境負荷軽減の一環です。ご理解、ご協力よろしく申し上げます。



生涯教育研修 研修会整理費の徴収について

コロナ禍でオンライン（Zoom）研修会が中心となり、会場整理費の徴収が困難となり無償にて研修会を行ってきました。Withコロナとなり現地開催の研修会が行われるのに伴い、2023年8月開催の研修会から研修会整理費を徴収いたします。またオンライン研修会においても運営費用が掛かることから準備が整い次第、研修会整理費の徴収を行います。

第51回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和5年12月3日（日）

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：Let's connect!

サブテーマ：臨床検査技師になってよかった

～ 人との出会い・検査との出会い～



「一般演題募集の締め切りについて」

第51回 埼玉県医学検査学会
学術部 佐藤 奈都美

新型コロナウイルスが5類に引き下げられてから約1ヶ月経過しましたが、皆様の職場では相変わらずお忙しいことと存じます。

12月3日（日）に開催される第51回埼玉県医学検査学会の演題受付が、5月1日（月）から開始され、締め切りまであと1ヶ月となりました。まだ悩んでいる方も、手元にあるデータを使えば間に合いませんか？ コロナ禍に入職された方はWeb開催の学会が多く、事前レコーディングでの発表を経験

されたかと思います。まだ人前に立って発表したことがない方は、この機会にエントリーしてみたい方が多いでしょうか？ また、発表をしたことのない方、まだ慣れていなくて経験を積みたい方も、まずは埼玉県医学検査学会にエントリーしてみたい方が多いでしょうか？ 第51回のテーマは「Let's connect!」です。発表内容など迷ったら同僚、先輩、上司に相談してください。いいアイデアが浮かぶかもしれません。また、抄録を作成したら先輩や上司に確認してもらってください。自分では気づかなかった間違いや、誤字脱字、表現方法などアドバイスしてくれると思います。もちろん、ベテランの方のエントリーも大歓迎です。抄録作成や演題発表が「connect」の一助になればと思います。皆様から多数のエントリーをいただけること、実行委員一同お待ちしております。

また、第51回の企画の中に目に留まるものはありませんか？ 1つでも気になりましたら当日の学会参加もよろしく願いいたします。

「初めての学会発表」

第51回 埼玉県医学検査学会
学術部 相良 真理子

早いもので今年も折り返し地点となりました。演題登録はお済みでしょうか？

私の学会発表デビューは5年前でした。内容は、マーカー染色体を有する患者の症例発表で、細胞遺伝学的機序についての考察をしました。いつも熱心にご指導していただいている遺伝科の医師に、テーマ決めから発表内容まで全て促されるままにといった感じでした。当時の私は、圧倒的な知識不足で内容を理解するので精一杯、当日の質問に的確に答えられるか不安で堪らなかったのを思い出します。また、発表原稿を盛り沢山にしてしまい、時間内に収まるか不安もありました。案の定、凄まじい早口で持ち時間を大幅に余らせて発表を終え、質問対応に至っては、頭が真っ白で記憶がありません。準備不足を痛感したデビューとなりましたが、それから毎年学会発表を続けています。続ける中で、学会発表でしか得られない知識や経験があることに気づきました。複数の文献情報を踏まえて、自分が新たに分かったこと・伝えたいことを簡潔明瞭にスライドにまとめる過程は、多くの学びになります。

初めての学会発表を検討している方へ、いくつか準備のポイントをお伝えします。テーマ決めは、希少性・新しさがあるもので、自分が伝えたいことを考えると良いです。発表準備に関しては、時間に余裕を持ったスライド枚数と原稿の作成をお勧めします。また、部署内で予演会を行い、そこで想定質問を挙げておくことも準備に役立ちます。

埼玉県医学検査学会の参加者の多くは、臨床検査技師の仲間です。とても和やかな雰囲気なので、この機会に学会発表デビューをしてみるのはいかがでしょうか。皆様の演題登録を心よりお待ちしております。

●演題・抄録締切日：令和5年7月14日(金)

研究班研修会報告

テーマ 令和4年度埼玉県・埼玉県医師会臨床検査精度管理事業報告(血液)

主催 血液検査研究班

実施日時：2023年4月20日 19時00分～20時30分

会 場：Web開催 教科・点数：基礎教科－20点

講 演 1：フォトサーベイ回答・解説

講 師：吉澤 悟（壮幸会 行田総合病院）

講 演 2：基礎から学ぼう！血液検査における精度管理

講 師：堀内 雄太（川口市立医療センター）

参加人数：会員41名 賛助会員1名

出席した研究班班員：中山智史 堀口大介 堀内雄太 澁川絵美 加藤鉄平 島田崇史 吉澤悟
石田沙妃

研修内容の概要・感想など

講演1では、吉澤氏によりフォトサーベイの回答・解説が行われた。設問は5問あり、それぞれの回答の集計結果と共に、細胞の特徴、注意すべき検査結果について解説があった。写真1はEDTA依存性血小板凝集の症例で、機序や対応方法、採血困難時の血小板凝集像との違いについての話があった。写真2、3は赤血球の異常形態で標的赤血球と破碎赤血球が出題され、貧血の種類、その他の異常赤血球とそれらの報告基準について解説があった。写真4、5は多発性骨髄腫の症例で、赤血球連鎖形成と形質細胞が出題され、疾患の概要と他の分野で見られる異常値、骨髄検査所見を交えて解説された。これから血液検査に携わる人やほとんど血液像を見ない施設の方へ向けて、臨床でよく遭遇する細胞から疾患関連性の高い細胞まで種々の細胞が出題されていた。形態学は経験の差が出てしまうため、各施設で定期的に内部精度管理をすることで、標準化を図れると思われる。

講演2では、堀内氏により血液検査分野における内部精度管理について講演が行われた。医療法改正により、標準作業書や作業日誌等が必須になったことで、検体検査の精度確保のための環境・体制整備が推進された。これにより施設内の作業が標準化され、精度保証につながっている。検査実施の際には、使用機器の内部精度管理が必要であり、測定頻度や管理幅等を各施設で設定することが重要となる。機器を用いない形態学検査では技師間差が見られるため、定期的な目合わせを行うことが推奨される。また、凝固検査では採血や遠心作業等の検査前工程が検査値に大きく影響を与えるため、各施設で検査前プロセスを検証する必要がある。内部精度管理だけでは、他施設との互換性が取れないため外部精度管理にも積極的に参加する必要があるとの話があった。日常的に行っているが、精度管理、精度保証は大変重要である。一見すると正しく測定できている値でも外部精度管理を行うと乱れているとわかることもある。正しい検査値を臨床に返すために日々、精度管理を意識して、業務に務めなければと感じる講演であった。

(文責：加藤鉄平)

テーマ **令和4年度埼玉県・埼玉県医師会臨床検査精度管理事業報告と解説
(微生物)**

主催 微生物検査研究班

実施日時：2023年4月28日 18時30分～19時35分

会 場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点

講 演 1：フォトサーベイ

講 師：佐々木 真一（株式会社ビー・エム・エル総合研究所）

講 演 2：同定検査

講 師：酒井 利育（自治医科大学附属さいたま医療センター）

講 演 3：薬剤感受性検査

講 師：今井 芙美（地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター）

講 演 4：グラム染色

講 師：伊波 崇之（さいたま赤十字病院）

参加人数：会員37名

出席した研究班班員：小棚雅寛 酒井利育 今井芙美 佐々木真一 岸井こずゑ 伊波嵩之
渡辺駿介 大塚聖也

研修内容の概要・感想など

本年度最初の研修会を「令和4年度埼玉県・埼玉県医師会臨床検査精度管理事業報告と解説（微生物）」をテーマに開催した。フォトサーベイ、同定検査、薬剤感受性検査、グラム染色について各出題担当者から結果報告と解説があった。フォトサーベイでは、*Aeromonas hydrophila* complexを出題した。本菌は、創傷感染や下痢症での検出が多い菌であるが、*Aeromonas veronii* biovar *sobria*と回答した施設があった。出題菌種とは胆汁エスクリン培地の発育に違いがあるとの解説があった。同定検査では、*Yersinia enterocolitica*と*Pasteurella multocida*を出題した。*Yersinia*属には、*Y. pestis*、*Y. enterocolitica*、*Y. pseudotuberculosis*が代表的なヒト病原性菌として存在している。*Yersinia* sp.と回答した施設は生化学的性状等を確認し、*Y. enterocolitica*と菌種まで同定できるようにしていただきたいと報告があった。薬剤感受性検査では、*Enterococcus faecalis* (ATCC29212)と*Pseudomonas aeruginosa* MDRP（臨床分離株）を出題した。正確な検査結果を報告できるよう日常から内部精度管理を実施することが重要であると報告があった。多剤耐性緑膿菌は、嚴重な感染対策を実施する必要があるため検出された場合は、臨床へ確実に多剤耐性緑膿菌（MDRP）とわかる結果報告をすることが大切との解説があった。グラム染色では、*Streptococcus pyogenes*を出題した。未回答を除いたすべての施設が、グラム陽性球菌と回答する非常に良好な結果と報告があった。一方で、すべての設問で、参加申し込みしているにも関わらず無回答の施設が散見された。無回答の場合は、評価Dとなるので参加申し込み時から注意していただきたい。各設問において評価が悪かった施設は、問題点を見直し、改善していくことが重要である。

（文責：小棚雅寛）

令和5年度埼臨技会員名簿作成についてのお願い

1. 新入職員の会員登録はお済でしょうか？

令和5年9月30日(土)の登録情報をもとに名簿作成いたします。早めの入会をお願いします。

2. 勤務先が変わった方、登録変更はお済でしょうか？

今年度より異動等で勤務先が変わった方、勤務先の変更はお済でしょうか？ まだの方は日臨技ホームページの会員ページより勤務先変更を速やかに行うと共に、埼臨技事務所にご連絡ください。

埼臨技への連絡がないと郵便物の配送や各連絡が前施設へ届くこととなり、お互いに迷惑を被ることとなります。皆様のご理解およびご協力をお願いいたします。

3. 令和5年度会員名簿の配布および名簿不掲載のお申込みについて

今年度は冊子にて発行いたします。発行は令和5年12月を予定しています。

配布は会員の所属する施設および賛助会員に1部とし、個人会員で希望される方につきましては、下記の通りお申込みいただきますようお願いいたします。

また、不掲載を希望される方も同様をお願いいたします。なお、以前より不掲載を希望されていた方につきましては、本年度も継続いたしますので連絡は不要です。

また、今回の会員名簿から定款、技師会役員名簿、委員会名簿、研究班名簿の掲載を取りやめます。ホームページに掲載いたしますのでそちらをご参照ください。

申込期限：令和5年6月16日(金)～令和5年7月18日(火)まで

メールまたはFAXでお申し込みください。

件名(標題)を「勤務先変更」、「名簿配布希望」または「不掲載希望」として、会員番号および氏名、勤務先変更の場合は新勤務先を送信してください。

連絡先：公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会事務所

TEL：048-824-4077 FAX：048-824-4095

E-mail：sairingi@sairingi.com

**令和5年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第2回 理事会議事録**

日時：令和5年5月11日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：現地にて出席

(理事) 神山 松岡 猪浦 山口 濱本

長澤 松寄 阿部 松尾 佐瀬

三木 網野 塚原 伊藤(恵)

神嶋 伊藤(隆) 石井 神戸

小林 長岡 久保田 長谷川

(監事) 遠藤 細谷

本日の理事会の出席者は24名であった。理事の出席者は22名で、現在22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告

(令和5年4月13日～令和5年5月10日)

4月13日(木) 令和5年度第1回理事会：

神山、松岡、猪浦、山口、濱本、長澤、松寄、阿部、松尾、網野、佐瀬、三木、塚原、神嶋、伊藤(恵)、伊藤(隆)、長岡、久保田、長谷川、神戸、石井、小林、遠藤

4月15日(土) 日臨技執行理事会：神山

4月16日(日) タスクシフト指定講習会

(埼玉014)：

猪浦、濱本、松寄、長澤、伊藤(恵)、長谷川、小林、佐瀬

4月19日(水) 日臨技品質管理部会：神山

4月20日(木) 越谷市精度管理引継ぎ会議：神山

4月20日(木) 第51回埼玉県医学検査学会実行委員会：三木、佐瀬

4月21日(金) 日臨技支部長連絡会議：神山

4月21日(金) 日臨技理事会事前会議：神山

4月22日(土) 日臨技全国会長会議：神山、松岡

4月22日(土) 日臨技役員研修会：神山

4月22日(土) 日臨技理事会：神山

4月29日(土) 日臨技精度保証認証会議：神山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 4月12日(水) 業務監査を実施した。

(別紙資料1)

2) 5月2日(火) 表彰選考委員会を開催した。
(別紙資料9)

3) 日臨技支部学術奨励賞(支部学会優秀演題)に山下慢同(まお)氏(北里研究所メディカルセンター病院LSI検査室勤務：個人会員)が選考され、神山会長が本人に通知を行った。

2 総務部

1) 4月16日(日) タスクシフト指定講習会(埼玉県014)を国際医療専門学校で開催した。
(別紙資料2)

2) 4月28日(金) 榊じほう MTJ担当者へ埼臨技だよりWeb化の記事掲載について承諾の連絡をした。

3) 4月30日(日) 令和8年度学会会場優先予約依頼文書と催事計画書を提出した。

4) 5月15日(月) 埼臨技だより528号発行予定。

5) 6月18日(日) タスクシフト指定講習会(埼玉県015)を国際医療専門学校で開催予定。運営管理者は松寄次長。

3 事業部 特になし

4 学術部

1) 日臨技(兼都臨技会員)会員からの埼臨技研修会への参加についての質問に対し、メールにて回答を行った。

2) 5月4日(木)「生涯教育研修プログラム6月・7月分」の日臨技システム行事登録作業を完了した。

3) 血液検査研究班の公募について、三役・学術部内の討議結果を踏まえ、進めていくこととした。

5 精度保証部 特になし

6 会計部

1) 4月12日(水) 会計監査を実施した。

(別紙資料3)

2) 令和4年度正会員費1名5,000円、再入会金1名1,000円、令和5年度正会員費3,353名16,765,000円、入会金13名13,000円、再入会金4名4,000円、合計16,788,000円の入金(直接入金2名含む)があった。

3) 石井印刷へ、埼臨技だより第527号印刷代213,840円を支払った。

4) 会員管理システム年間保守費用としてエッチ・アンド・ティーへ220,000円支払った。

5) 会場整理費(研修会整理費)の決済方法について資料をもとに神戸精度保証部長より報告があった。
(別紙資料8)

7 精度管理委員会 特になし

8 一都八県会長会議 特になし

9 日臨技関甲信支部 特になし

10 日臨技

1) 4月22日(土) 日臨技全国会長会議が開催された。
(別紙資料4)

11 第51回埼玉県医学検査学会

- 1) 4月20日(木)第7回実行委員会を開催した。
(別紙資料5)

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和5年度分)
令和5年5月1日現在
会員数 3,498名[令和4年度会員数3,458名]
(新入会員 101名)
賛助会員 29社[令和4年度 71社]
承認された。

2 総務部 特になし

3 事業部 特になし

4 学術部

- 1) 部門別研究班運営規定の改定について
(別紙資料6)
上記の件について、長岡勇吾学術部長より発言があり、審議の結果、承認された。
- 2) 生理検査研究班員補充について
上記の件について、長岡勇吾学術部長より発言があり、審議の結果、承認された。
- 3) 血液検査研究班公募内容について
(別紙資料7)
上記の件について、長岡勇吾学術部長より発言があり、審議の結果、承認された。

5 精度保証部 特になし

6 会計部

- 1) クエストの更新について利用料
上記の件について、石井直美会計部長より発言があり、審議の結果、承認された。

7 精度管理委員会 特になし

8 第51回埼玉県医学検査学会

- 1) 別紙資料5の上程事項について承認いただきたい。
上記の件について、三木隆治学会担当理事より発言があり、審議の結果、学会企画への研究班、青年部委員会の協力、学会PR動画の研修会での上映、定時会員総会で進捗状況の報告をすることについて承認された。

IV. 議題

1 事務局 特になし

2 総務部 特になし

3 事業部 特になし

4 学術部 特になし

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

埼臨技会員の皆様、これまで3年半の間新型コロナウイルス感染症に対する様々な対策を講じながらの業務、大変お疲れ様でした。

今後は「5類」移行で、行動制限に関する法的根拠等がなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられることになりました。

さて皆さん、これからはもちろん感染対策を充分にとりながらではありますが、やっと・やっと待ちに待った、飲み会や旅行ができるようになりました！

「今こそ行きたい旅がある」＝「イマ旅」というそうです。

私も、気のおけない仲間とともに素晴らしい景色と美味しい食事、そして温泉でデトックスする「イマ旅」を計画したいと思っております。

ホテルでの夕食は少し豪華にちょっとドレスアップしてみようかと考えるだけで、とても心豊かになると思いませんか？

そして当日を待ちわびながら過ごす日々が、私の生きる支えになるような気がします。

会員の皆様、気分転換に「イマ旅」を計画してリフレッシュしてみたいはいかがですか？

(伊藤(恵) 記)

